



受講料＝1回 1500 円 (学生 1000 円)

現在、本科生・聴講生は募集しておりません。受講については下記までお気軽にお問い合わせください。

●ご予約・お問い合わせ先

《メール》 hows@dream.ocn.ne.jp

《お電話》 080-9816-3450

特別講座 島々を戦場にしてはならない！

琉球孤・宮古島の軍事要塞化と戦争準備 ——ミサイル基地化の進む宮古島からのレポート

講師＝清水早子 (ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会)

日時＝2025年10月15日(水) 18時30分～21時00分



清水早子さん。ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表。1995 年より宮古島にて教育労働者として就労。島の子もたちと向き合いながら、島の軍事化に反対し、反戦反基地の市民運動に取り組んで四半世紀。

日本国政府は、沖縄・南西諸島（琉球孤）で中国に対する戦争を想定しつつ、自衛隊基地の配備を強化し、高性能なレーダー・移動式ミサイル・大型弾薬庫などの設置を進め、小さな島々が戦争の舞台になる危険を高めている。住民の生命は軽視され、自然の恵みに包まれて暮らす島の生態系や文化の破壊も行なわれる。ただ、こうした緊迫した状況については本土では十分な報道がなされていない。そのため関東や東北では関心をもちにくい状態にある。

しかし、いやま沖縄のみならず日本全国に点在する自衛隊基地で軍事行動の準備が進んでいるのである。これらの政策は「アジアへの回帰」以降の米国の、中国を標的とする新たな世界戦略と歩調を合わせるもので、日本政府は「台湾有事は日本有事」と危機を煽り、憲法に反する方向に向かっている。

今回の企画では、長年、宮古島を拠点として軍拡に反対する活動を続けている清水早子さんから、政府の戦争政策の最前線に立たされている宮古島の状況を伺い、日本政府の戦争政策に抗する沖縄・南西諸島（琉球孤）と関東の人々の連帯による反戦・平和運動を構築してゆく足がかりとなる場にしたい。

会場 本郷文化フォーラムホール

〒113-0033 東京都文京区本郷3の29の10飯島ビル1F
最寄り駅は地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」駅

問い合わせ

要事前予約

☎ 080-9816-3450

✉ hows@dream.ocn.ne.jp

